

令和6年第2回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）

| | |
|------|---|
| 日 時 | 令和6年4月11日（木） 11時00分～11時40分 |
| 場 所 | 2階大会議室 |
| 出席委員 | 阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、後藤委員、高田委員、中村委員、山田委員 |
| 欠席委員 | 加地委員、川田委員、藤原委員 |
| 事務局 | 伊藤教育長、坂口教育部長、太田教育部次長、田中生涯学習課主幹、弘瀬図書館長、谷中生涯学習課課長補佐、石橋生涯学習課主査、佐藤生涯学習課主査 |

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和6年第1回室蘭市議会定例会について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 部活動の地域移行について、教育委員会もご苦労なさっていると思う。諸団体との交渉など色々あるかと思うが、こども達がその間部活動が出来ないというようなことがないように暫定的な形であっても保障してあげてほしい。また、外部指導員に係る費用というのはどのようなものがあるのか。

（事務局） 費用については、報酬という形で発生する。

（A委員） 文化センターについて、文化団体とは話を詰めているのかもしれないが、一般市民はどこまで理解しているのかというあたりが心配だ。

（事務局） 現在文化連盟と協議を続けており、建物が無くなった後で、どういった形で活動を保障するかを含めて、公演や事業をご覧になる市民の方々に対する文化振興策についてご意見をいただいているところ。また、市民会館も含めた近隣施設を使って、今までどおりの公演や事業が出来るのか、何が支障になるのか、費用面も含めて負担の軽減策をどうするのかという話をさせていただいている。まだ時間もあるので、今後も話を詰めていきたいと考えている。

（A委員） だんばらについて、民間活力の導入とあるが、これは民間にどのようなことを期待しているのか。

（事務局） ここでいう民間活力の導入は、スキー場ではなく、山麓公園のことについて述べており、民間の知恵を借りて公園施設を使い、何か出来ないかという議論になる。

（A委員） 伝統文化や、歴史の学習について、ただ見学するだけではなく、そこから何を学ぶのかというのが大事だと思う。また、民俗資料館について、古い道具などが置いてあり、親しみを感じる所だが、車を持っていない高齢者は見学に行きづらく、高齢者の学びには交通のアクセスという要素もあると感じた。

（B委員） 部活動の地域移行について、外部指導者については国と市と保護者でどういう負担の話になっているのか。

（事務局） まだ決まっていない。国の方から何かあるかなという期待はしているが、なかなか示されない。外部指導者には当然民間の方も入ってくる中で、報酬を支払わなくてはならないということになるとかなりの資金がかかると思われる。保護者に一定の負担を求めていくのか、国から何かしらの施策が示されてくるのかということも含めてまだ何も決まっていない状況にある。

【日程2】

報告第2号 令和6年度北海道及び胆振管内社会教育委員連絡協議会について
(事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答) なし

【日程3】

報告第3号 5月・6月の行事予定について
(事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答)
(B委員) 現在は完全コロナ明けという状況だが、コロナが明けても復活出来なかったという行事はあるのか。
(事務局) 特にはない。

【日程4】

報告第4号 室蘭市社会教育後期推進計画について
(事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答)
(A委員) 室蘭は広い範囲できめ細やかな計画が出来ており素晴らしいと思う。それをいかに実現して行って、少しでも成果があがればと期待している。立派なものが出来上がってうれしく思う。
(B委員) 以前、計画策定過程の中で、文化施設に関して、施設が少なくなるなりにどうやって文化を盛り立てていこうとするのかという計画、ソフトの力も含めてそういったものがあると良いのではという話が出ていたので、この計画もそのひとつだが、そのようなものがあったりするのか。
(事務局) 後期計画の期間中に文化センターが存廃の時期を迎えるので、その次の段階で新たな計画を作る時に、新たな文化振興策を計画の中に取り入れていくといった見直しをしていきたいと考えている。
(B委員) 先程も、関連団体のみならず、一般の方々にも将来像をわかりやすく提示した方が良いという意見があったので、そのあたりも意識していただけたらと思う。

【日程5】

その他 室蘭市社会教育委員の改選について
(事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答) なし

次回開催日 令和6年6月6日(木)